



# セゾン投信 月次運用レポート

## 長期投資家の皆様へ

年明け直後は欧州問題を材料に弱気の虫が疼き続けていた世界の金融市場ですが、先月中旬以降は投資マネーの流れがいわゆるリスクオンに変化し、世界の株式市場は軒並み上昇に転じました。

何と云っても世界最大の経済規模である米国の景気二番底懸念が薄れ、ファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）を示す指標が概ね改善に向かっていることが、投資家心理を和らげているのでしょう。

年末クリスマス商戦は好調で、米経済の7割以上を占める個人消費の回復と雇用の落ち込みの改善が好材料です。その足取りはまだ不安定で脆弱ですが、市場全体に安心感が始めている一番の要因は、G20諸国の景気下支えに対するコミットメントでしょう。つまり各国の今年の金融政策ははっきりと緩和方向で合致しており、世界経済全体を底上げしていこうというコンセンサスと捉えられること、それに主要国での首脳交代年でもあることから、暫し政策は経済重視に傾くと考えられます。

欧州債務問題の解決への道のりはマラソンの如く長い旅となりますが、その中心であるドイツはユーロ安と金融緩和による資金流入で景気の急回復が見込まれます。米独とも既にインフレ率を加味した実質金利はマイナスで、経済活動に追い風となる金融環境を政府が整えているわけです。

他方日本は現政権が財政規律一辺倒の政策指向で、デフレが進行し実質金利は大幅なプラスです。これは円高更なるデフレという負のスパイラルへ導いてしまいます。それでも復興需要で一定の成長回復は織り込まれ、今年の先進国経済はメディアが報じる悲観とは違い決して悪くないでしょう。

新興国経済は中国・インドなど踊り場にありますが、一定の新たな需要が先進国経済とのバランスを支え、地球経済の成長巡行速度は実質4%超へと徐々に上がるものと考えています。

ようやく市場全体に楽観の芽が出始めました。グローバル化の大河の流れに乗る「セゾン号」は、昨年しっかりと充電したエネルギーを加速につなげられる風向き変化を感じています。慌てずどっしりと進んでまいりましょう！

中野 晴啓

## ご留意事項

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

### セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号

加入協会：社団法人投資信託協会

<http://www.saison-am.co.jp/>

お客様窓口：03-3988-8668（受付時間9:00～17:00 土日祝日、年末年始除く）

# セゾン資産形成の達人ファンド

## 1月の市場動向

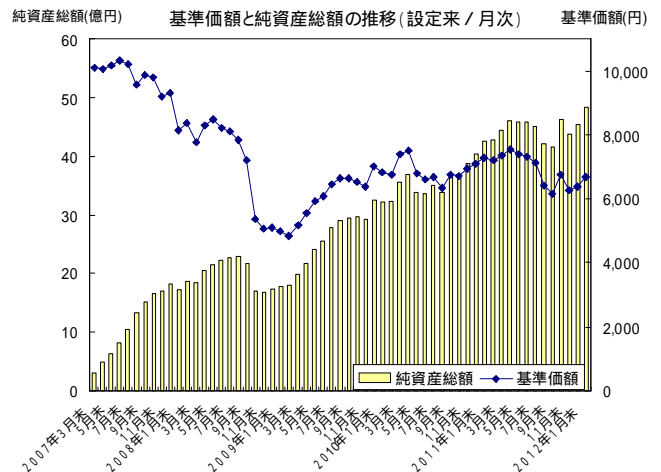
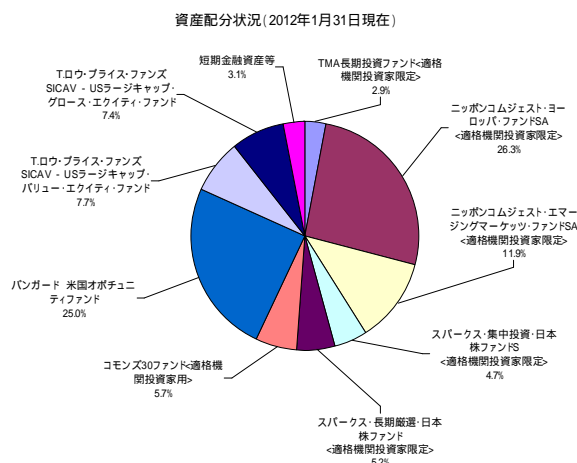
**株式：**【ユーロ圏の債務不安が和らぎ、経済の先行きに対する悲観的な見方が後退すると共に金融緩和期待が高まって上昇】

欧州中央銀行（ECB）の資金繰り支援策により、ユーロ圏の債務不安が和らぐなかで、米国経済の先行きに対する楽観的な見方が広がると共に、物価の落ち着きなどを背景に金融緩和観測が高まったことで、先進国、新興国ともに株式市場は上昇しました。

**為替：**【世界経済の先行きに対する明るい見方が広がって高金利通貨が上昇しドルと円が下落。景気低迷の長期化観測が高まりユーロも軟調】  
米国を中心に世界経済の先行きに対する明るい見方が広がったことから、高金利通貨が上昇する一方でドルと円が下落しました。ユーロは債務問題への警戒こそ和らいだものの、域内の景気低迷と金融緩和の長期化観測が高まったことで軟調な値動きとなりました。

基準価額と純資産総額及び騰落率（2012年1月31日現在）

基準価額	純資産総額	設定来騰落率	過去1ヶ月の騰落率	過去6ヶ月の騰落率	過去1年間の騰落率
6,668円	48.4億円	-33.32%	4.71%	-6.30%	-8.32%



## 1月の運用状況

### 今月の投資スタンス

今月の当ファンドは、主に積立購入による資金を利用して、コムジェストヨーロッパファンド、スパークス・長期厳選・日本株ファンド、コムジェストエマージングマーケットファンド、スパークス・集中投資・日本株ファンドS、TMA長期投資ファンド、コモンス30ファンドへの投資を行いました。

ファンド内の現金の比率は先月末から若干低下し、月末時点で3.1%となっております。

### ファンドマネジャーからの一言

1月度の株式市場は、ユーロ圏の債務問題への不安が和らいだことや経済の先行きに対する悲観的な見方が後退したこと、さらには先進国および新興国で金融緩和観測が高まったことで、金融危機の可能性や世界的な景気の落ち込みへの警戒が和らぎ、上昇しました。

ただ、各国の株価はこれまでに公表されている企業の利益水準等と比較すると割安と言える水準に留まっており、依然として市場参加者の先行きへの警戒感が高いものと考えられます。

当ファンドでは引き続き、投資先ファンドを通じて既に優れた実績を持ち今後も長期的に収益を生み出す力があると考えられる国内外の企業に選別投資を行うことによりリスクを抑えながら、皆様の長期的な資産形成に資することができるよう努めて参ります。

運用部 瀬下 哲雄

### 投資対象ファンドの組入れ銘柄の一部をご紹介します

#### 「T.ロウ・プライス・ファンズ SICAV-US ラージキャップ・グローブス・エクイティ・ファンド」

Priceline.com は米国に本社を置くインターネットでホテルの予約や航空券などの購入を格安でできるサービスを提供する会社です。利用者が値段やサービスレベルなどを指定する「逆オークション」を導入したことで有名です。

米国以外のホテル予約サービスでは「Booking.com」や「Agoda」でサービスを展開し欧州、アジア、ラテンアメリカで利用者を伸ばしています。

上記は、ファンドについての理解を深めていただくためのものであり、特定の銘柄の推奨を目的とするものではありません。

## 基本的な投資スタンスについて

私共が投資対象としているファンドは、いずれも中長期的な視点で投資を行っておりますが、保有している株式が割高となった場合やより良い投資機会を発見した場合、投資先の状況に大きな変化があった場合等については銘柄の売却を行うことがあります。もちろん、どのファンドも長期投資の理念を共有しており、短期的な売買を繰り返すことはありません。

私共は各投資対象ファンドについて、各ファンドがカバーする銘柄選択の対象を幅広くすることを意識しながら目標とする地域及びファンド毎の配分比率を決定します。その上で、主にファンドの購入により配分比率の調整を行っております。もちろん、短期的な市場動向の予測に基づいて投資先ファンドの売買を行うことはございません。

当ファンドでは、各投資対象ファンドがファンダメンタル分析に基づく中長期的な視点から各銘柄への投資を行い、その上で私共が十分に国際分散を図ることができるように資産配分を行うことで、皆様の長期的な資産形成に資するよう運用を行っております。

## 当ファンドに係るリスクについて

当ファンドはファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、株式や公社債を実質的な主要投資対象としており、株式や公社債の投資に係る価格変動リスクを伴います。一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また当ファンドは外貨建資産に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」や「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。

詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

## 当ファンドに係る手数料について

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

申込時に係る費用

申込手数料はかかりません。

解約時に係る費用

解約手数料はかかりません。なお、解約受付日の翌々営業日の基準価額に対して0.1%の信託財産留保額が控除されます。

保管期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬

ファンドの純資産総額に年0.567%（税抜0.54%）の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的に受益者の方にご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年1.3%±0.2%（概算）となります。

その他費用

信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用（有価証券の売買の際に発生する手数料や、有価証券の保管に要する費用等を含む）、監査報酬（消費税含む）および立替金の利息等が信託財産の中から差し引かれます。なお、当該その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に計算方法、上限額等を示すことが出来ません。

当該手数料の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

### セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号

加入協会：社団法人投資信託協会

<http://www.saison-am.co.jp/>

お客様窓口：03-3988-8668（受付時間 9:00～17:00 土日祝日、年末年始除く）